

平成 29 年度第 3 回 松江市公共交通利用促進市民会議

○日 時 平成 30 年 2 月 1 日(木) 14 時 00 分～15 時 30 分

○場 所 松江市役所 西棟 3 階 第 1 常任委員会室

○出席者 (委員)

田中隆一、陶山郁也、永見繁徳、小数賀安富、劔谷昭、石倉知樹、家島滋、
佐々木弘臣、三島花子、木下正人(代理)、勝部昌幸、飯野公央、浅田純作、
眞田安利、梶谷彰宏、細田正人、藤原誠、和田昇司、山崎浩、新宮稔、
北村雄二(代理)、河村友美(代理)、福島琢二、森原透、坂田仁志(代理)

(事務局)

交通政策課長 比田誠

交通政策課交通企画係長 佐藤広樹、交通政策課バス交通係長 石津宏明

交通政策課交通企画係主任 岩崎信也、交通政策課交通企画係副主任 福本浩紀

交通政策課バス交通係副主任 安部耕太郎

○内 容 1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1)報告事項

ア コミュニティバス実態調査結果(速報)について

イ 平成 30 年度コミュニティバス運行について

ウ 路線バスの利便性向上について

①バス運行情報提供システム

②交通 IC カード

③一畑バス・市営バス共通定期

エ バス停美化活動について

オ 啓発活動について

①第 8 回バスまつりへの参加

②「第 24 回松江市環境フェスティバル」への参加

カ 松江市内路線バス小学生以下無料イベント結果について

キ 第 9 回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果(中間報告)について

(2)協議事項

ア 平成 29 年度ノーマイカーウィーク運動推進事業所の表彰について

イ 平成 30 年度ノーマイカーウィークに関するアンケートについて

4 その他

1 開会

(佐藤係長)

それでは皆さま揃われましたので、平成29年度第3回松江市公共交通利用促進市民会議を開催いたします。本日の司会を務めます、歴史まちづくり部交通政策課、交通企画係長の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、本日使用する資料の確認をお願いいたします。ピンク色の封筒の中に、会議次第、会議資料、コミュニティバスアンケート調査票、委員名簿、「山陰新幹線の早期実現を求める松江大会」のチラシ、出雲空港から静岡・仙台方面に新設された航路を紹介するチラシが入っております。また、交通事故の現状についての資料をお配りしております。不足の資料がありましたら、お知らせください。

会議中に発言いただく場合は、所属、氏名を述べていただいた後、マイクを使用いただきますようお願いいたします。

本日の会議の出席状況でございます。お手元の名簿のとおりであり、過半数以上の委員にご出席いただいておりますので、設置要綱第8条2項に定める定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

2 あいさつ

(佐藤係長)

はじめに交通政策課長の比田がご挨拶いたします。

(比田課長)

皆さん、こんにちは。交通政策課長の比田でございます。今日は本当に寒い中ではございましたが、たくさん委員の皆様にご参集をいただきまして大変ありがとうございました。今日はちょっと緩んだかなという気がいたしますが、先般来、全国的に大変な寒波が来ておりまして、市内の交通もいろいろ乱れたり、あるいは広域交通に目をやりますと、航路・空路の欠航、高速バスも運休だったようでございますし、JRも止まったりと様々な影響が出た昨今であったかなと思っております。

市内もバスとか、私どもが直接やっておりますコミュニティバス、これについては全国的な大寒波であった割には比較的安定と言いますか、大きな欠便とか運休というのは少なかったかなと、一定の運休や欠便というのはあったんですけど、思ったほどではなかったような気がしております。

やっと2月になりましたので、まだもう1回や2回はこういったことが来るのではないかなと思っておりますが、バスをはじめとして、市民の皆さんの活動・移動手段であるところの公共交通がなるべく止まることのない様に、一方で安心・安全を最優先にして運行が出来ればなど。早く春が来ないかなと待ち望んでいるところでございます。

さて今日は、お手元の議題にありますような数多くの報告事項と、ノーマイカーの取り組みに関するご協議をさせていただこうと思っております。皆様にはご審議のほど、よろしくお願いいたしますと思っております。今日はお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(佐藤係長)

続いて、飯野会長よりご挨拶をいただきます。

(飯野会長)

どうもこんにちは。いま課長の方からも話がありましたが、先週、それほど多い雪ではありませんでしたが、やはりバスが遅延するという中で30分ほどバス停に立っていました。心身ともに凍り付くような寒さ

なんですね。「ああ、こういう所がバスって不利なんだな」「バス停環境を改善しないと、寒さの厳しい地域にとっては、公共交通の利用促進を図るのも難しいのかな」ということを感じていたわけです。

一方でバスに乗りますと、運転士さんは、とても丁寧に遅れたことを陳謝し、そして安全運転で快適に乗客を運んでくださいます。本当に感謝しています。

ただ、ひとつ気になったのは、乗客の方がそれに対して何も言葉を返さない。これはいかんなというのを正直に感じました。どうしても我々は、つい事業者の皆さんに要求をすることが多いわけですが、一方で事業者の皆さんにきちんと感謝をするというようなことも、やらなければならないなということを非常に強く感じた所です。

そういったことも含めまして、皆さんとこれからも公共交通の利用促進に努めて参りたいと思いますので、本日もどうかよろしくお願いいたします。

(佐藤係長)

ありがとうございます。それでは飯野会長、議事進行をお願いいたします。

3 議事

公開・非公開について

(飯野会長)

それでは、最初に本日の会議の公開、非公開についてお諮りしたいと思います。事務局の方から、本日の会に非公開とすべき案件があるかどうかをお願いいたします。

(佐藤係長)

協議事項ア 「平成29年度松江市一斉ノーマイカーウィーク参加事業所の表彰について」は、非公開にすべき案件と思われます。

(飯野会長)

これにつきまして、非公開という形で事務局から提案がありましたが、ご異議はございませんか

※委員了承

(飯野会長)

ありがとうございます。それでは、協議事項のうち表彰事業所の選考部分につきましては、非公開で進めたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

報告事項ア コミュニティバス実態調査結果（速報）について

報告事項イ 平成30年度コミュニティバス運行について

(飯野会長)

それでは議事に入りたいと思います。まず、報告事項です。コミュニティバス実態調査結果(速報)についてと、平成30年度コミュニティバス運行について、事務局より説明をお願いします。

(安部副主任)

「コミュニティバス実態調査結果（速報）について」および「平成30年度コミュニティバス運行について」資料1、資料2を基に説明。

（飯野会長）

ありがとうございました。少し補足をしておきたいのですが、何でこのようなことをしたのかということになろうかと思います。ご承知のように、全国的にコミュニティバスというのは導入されている訳ですけども、なかなか利用者が伸びない。そして経費がかかるということで、どこの自治体にとっても「どうしたら良いか」と頭を悩ませている課題なのです。

ところが実態をよく見てみますと、果たして利用者がどういったことを望んでいるのか、実際にいま運行されている経路や時刻であるとか、そういったものが地域の住民の生活スタイルにきちんと合っているのかどうかということを、どれだけきちんと把握したなかで走らせているのかという点で、随分疑問に思う所があります。

松江市も合併してから10年が経つわけですけども、いざそういったことを行政の皆さんと地元の皆さんが協議してやったかという、なかなかそうではなかったというのが正直な実態です。そこで昨年に「ブレ」ですけども、事務局の皆さんが業務の合間を見て、実際に自分たちでコミュニティバスに乗ってみました。実際の路線とそこに乗って来られるお客さんの両方を見たときに、どうも違いがあるなと感じたわけです。地元から要望が出ているものと、実際に乗ってみた感覚としてちょっと違いがあるなど。これは一回きちんと整理をしないといけないということで、彼らはその後約3か月間かけてほぼ全ての路線を、そして多くの住民の皆さまにもお願いしてこういったアンケート調査を取って、これをベースにして本当に住民の皆さんが使い勝手の良いものをきちんと作ろうということでやっている、その調査の一回目がこちらです。

そういう意味では、これからどういった結果が出るのか非常に楽しみにしている訳ですけども、こういう作業をいよいよ松江市でも始めたということ、まず私の方から紹介させていただきます。

それで、いま簡単な報告がありましたけれども、これにつきまして皆さんの方からご意見、あるいは、もったこうしたこともやっても良いんじゃないかというような前向きな意見等があれば、ぜひ出していただければと思います。よろしくお願いいたします。

コミバスは、石倉さんが取りまとめておられますが、何かご意見があれば。

（石倉委員）

コミュニティバス利用促進協議会連絡会から参加しております石倉と申します。飯野会長からご指名いただきましたし、コミュニティバスに関する職をやらせていただいております関係で、申し上げさせていただきますと思います。

運行业者様からのご指摘でございますけれども、入札が1年ごとなどのように短期間のために、その間の職員の採用が非常に困難だということで、もう少し展望を持った計画にして欲しいとのことでした。そう申しますのは、少なくとも2年とか3年という計画にしてみようと、ドライバーの確保でより有利になるということでした。非常にドライバーさんの確保が難しいという現状を、運行业者の方からお聞きしましたのでご紹介したいと思います。

（飯野会長）

非常に重要なご指摘でございます。コミバスはタクシー事業者等に委託することが多いのですが、ご承知のように、いま電力会社の作業員の輸送にタクシーが出払っているということもありまして、タクシーを手配しても見つからない。実際に我々が市民生活をしていて、朝、なかなかタクシーがつかまらない。そう

いう中で長期的にある程度きちっとした経験者が取れるような形で、ドライバーさんが業務を遂行できるような形にならないか。そうすると見通しが楽なんだけど、というお話でした。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。実際にコミバスを使われている方、もしご意見があればいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

最終的に、このアンケート調査の結果が出るのはいつ頃でしょうか。

(安部副主任)

今、鋭意集計中でございまして、今年3月頃には集計をさせていただいて、結果としてお示しできるものが出てくると思います。

(飯野会長)

分かりました。次の市民会議で報告いただけるということでよろしいですね。分かりました。ありがとうございます。今こういう作業が進んでいるということ、皆さんに情報提供したいと思います。

報告事項ウ 路線バスの利便性向上について

(飯野会長)

続きまして、路線バスの利便性向上について、事務局より報告をお願いします。

(石津係長、佐藤係長)

路線バスの利便性向上について資料3を基に説明。

(飯野会長)

ありがとうございました。この3点ともが網計画で決めた中でも、とりわけ重要な課題として今年度取り組んできたわけですが、協議する中で随分いろんなハードルがあるなということが正直分かってしまったということです。これにつきまして、皆さんの方からご意見・質問等があればお受けしたいと思います。どうぞ。

(細田委員)

日ノ丸自動車の細田と申します。交通ICカードと共通定期のことで、参考になると言いますかご意見をさせていただければと思います。

まず、ICカードは非常に良い制度だと思いますが、時間短縮になるメリットもあるとおっしゃったんですけど、これは決してそうではないと私どもは思っております。そう言いますのは、バスに乗られる方は割引を利用される方が多くいらっしゃいます。そういった時にICカードを出された時に、運転士がそれぞれ運賃変更の作業をしていかないといけないのですね。そうすると非常に手間が掛かる。これは今のバスカードもそうなんですけれど、一人が一枚ずつ持っていて、きちっと運賃が切れるのなら良いのですが、それが二人分まとめてとか、割引があるということになると、時間が掛かるというようなこともあります。

ただ、当社の路線でも、観光路線、例えば空港路線や七類、皆生温泉とか、県外から来られて利用される路線は、やはり「ICカードは使えないか」というご意見も非常にあります。鳥取県の方でもICカードを載せるという話もあるんですけれど、そういう所を中心に先行して載せようかということも検討しているところでもあります。

それと一番難しいのは、ICカード車載器が1台100万円ぐらいかかるというようなことも聞いておりまして、当社は全車で150～160車両ありますけれども、それら全部に100万円をとというと、これが

なかなか回収できないという問題があります。

それから共通定期につきましては、配分率が一番の問題になると思います。米子市では、日本交通と当社と2社共通で走っているのですが、幸いに路線の住み分けをしております、あまり競合するところがありません。ただやはり主な路線、皆生線などは競合しておりますので、共通定期の再配分の方法は、便数とkmを全部按分して、この区間はどの便に乗っても「6対4」とか、比率によってデータで金額を配分するというやり方で当社と日本交通はやっております。以上です。

(飯野会長)

ありがとうございました。そういう按分の仕方もやっているということで、これで運輸局にもOKと言ってもらえたんですね。こういった前例があるのは強いですね。ぜひ参考にさせていただけたらと思います。

あとは「独占禁止法に抵触しないように」というのがよく分からないですね。事業者の皆さんが暴利を食うことができるなら、この島根の窮状はあり得ないわけで、そもそもこの独占禁止法的前提条件がないんじゃないのかと個人的には思うのですが、制度的にそうなっている訳ですね。この辺りは、運輸局から北村さんに来ていただいているので、運輸局の方でも是非その実態を上の方に伝えてもらえると嬉しいなと思います。そもそも独占禁止法以前に、事業者がなくなってしまうかもしれないという状況がある。なんとかして路線を維持するための利用促進としてこういうことをやっているんだという、そもそも論を分かってもらわないと。法律を生かすために路線を廃止して住民生活ができなくなったら意味がないので。知恵を出していただけると助かりますので、よろしくお願いします。

ほかにいかがでしょうか。

(田中委員)

運行情報提供システムは是非実現していただきたいなと思っております。バス利用者の不安の解消もそうなんですけれど、バスを待つ時に、バス停の前で待たずに近くの施設内で待つということも出来るんですね。バスが来るのが分かれば。例えば、北堀町のバス停を利用する方達が、やはり5分前くらい前に待っています。それがまた辛いのは、バス停の上屋が無いのですけれど、そういう中で傘をさして待っておられました。

この提供システムが稼働していれば、3分前に事務所を出てギリギリにバス停に行けば良い。これは当事業所じゃなくて、隣にみしまやがあるので、みしまやの中で待たせてもらうとか、これはバス停の上屋を作らなくても良いという所に繋がるんですね。

これは北堀町のバス停の上屋を作ってくれとずっと言っているのですけれど、なかなか実現しなくて、ちょっと発想を転換して、このシステムが稼働すればバス停の上屋はいらないんじゃないかと思いました。この考え方を発展させると、例えば日赤病院の中とか、スマートフォンというよりも画面ですね、デジタルサイネージですね。立派なものである必要はないんですけれど、タブレットがどこかに一つあるだけでも良い。日赤病院の他にイオンとか。そうすると寒いバス停で待たずに済む。夏は涼しい所で冬は暖かい所でゆっくりして、ギリギリにバス停に向かえば良い。そういう財源があれば、バス利用を促すようなPRにもつながると思います。案外それで元が取れたりとか。そんなプラス思考で考えて、バス運行情報提供システムを費用対効果から見てもぜひ実現していただきたいと思います。

(飯野会長)

ありがとうございます。以前にこの会議の事務局と私の方で、大阪と京都、広島に調査に行ったことがありまして、京都ではコンビニエンスストアでバスの運行情報が見れるようになっていて、暖かい所でバスが来るのを待っている。ついでに買い物もできる。そういったことができるとう非常に利便性が高くなる。というようなことも是非考えられれば、発想を変えてやっていきたいなと思います。ありがとうございました。

(飯野会長)

続きまして、バス停の美化活動につきまして、利用促進・サービス向上部会の石倉部会長より報告をお願いいたします。

(石倉委員)

それでは、今回の利用促進・サービス向上部会の部会長をしております石倉でございます。お手元の資料4をご覧ください。**資料4**につきまして、一言お礼とご報告をさせていただきます。

昨年9月9日土曜日、午前9時からバス停の美化活動として、JR松江駅前と県民会館前の両バス停の清掃活動を実施させていただきました。当日は飯野会長様をはじめ約30名の関係者の皆様にご活動いただきまして、美化活動にご協力いただきましたことを、一言感謝申し上げたいと思います。

当日の作業状況を写真で載せていただいております。それから**資料4**の裏面ですが、朝日新聞が当日取材に参りまして、翌日、朝日新聞の島根地方版の方にも活動の状況を広報していただきました。

感想としては、粘着テープの跡が残って剥がしにくいのが、非常に気がかりでございました。今後もポスター等を貼る際には、誰が貼って誰が剥がすのかということと、いつからいつまでということをもっとルール化をして特定をしてはどうかと感じております。

また、市民の皆さんやその地域の皆さんにもお声がけをしていって、町内会さんにも働きかけて一緒に参加していただくと、環境美化活動がさらに広がるかなと思っております。以上でございます。

(岩崎主任)

バス停美化活動について**資料4**を基に補足説明。

(飯野会長)

ありがとうございました。これには当島根大学生にも参加していただきました。もし補足あるいは意見等がありましたらどうぞ。

(陶山委員)

飯野研修室の陶山と申します。うちの研究室に5人の同級生がいますが、誘ったところ全員快諾をしてくれて、飯野先生と一緒に5人で参加させていただきました。

先ほど出たように、テープの所は擦ってもなかなか剥がれないということがあったので、そういったところが清掃活動を通して改善されたということは良かったと思います。

あとは、途中で通られた方が「市役所主催でやるとわざわざらしい感じがする」というようなことを話されて、非常に不快な思いをしました。だからどうしたという話ではありますが、市民の方々にはなかなか、善意でやっているのにそういう思いはくみ取って頂けないんだなという感想を持った次第です。以上です。

(飯野会長)

ありがとうございます。私はその場にいなかったのですが、いたら「じゃあ、そう言われるあなたは一体何をしていますのですか」と言い返していたのですが、逆にそれを言うとなんだか炎上しそうですね。いなくて良かったかなとも思いますが、でも、そういうことを言う人はおられますからね。

地道にこういう作業をやっていきいたいと思うし、私の住んでいる灘町はしょっちゅうこういう清掃活動をしている不思議な町内会です。でもバス停の清掃はやってないんですよね。今年からバス停の清掃をやら

うかなと思っています。ぜひそのような活動を地道に広げていけたら良いなと思います。

市の交通政策課が県民会館のバス停を管理しているということでしたが、他については管理されているのでしょうか。

(石津係長)

こちらの他に、イオン前のバス停と南高校の前のバス停、それと市役所前のバス停と湊北台団地にも1ヶ所バス停があります。上屋があるバス停として主な所ではそういった所を管理しておりまして、今年から掲示の仕方等については確認と指導をさせていただいております。

(飯野会長)

他に事業者の皆さんが管理している所もあろうかと思いますが、そういう所もできるだけ共通のルールで出来ると良いなと思いますので、よろしくお願いいたします。

これにつきまして、他にいかがでしょうか。よろしいですか。

突然ですが、スポンサー探しませんか。いつも思うのですけれど、いろんな協力の仕方があっても良いと思うんですよね。人は出さないけど、お金は出すとか。人もお金も出さないけど、告知に協力するとか。いろいろな協力のルールがあっても良いと思うんですよね。何でもかんでも市が音頭を取ってというのではなくて、もっといろんな方がいろんな形で参加できる仕組みを作っていくのも大事な事かなという気がしました。実際道具もいりませんし、消耗品だけですよね。そういう時に「人もお金も出さないけど、うちの商品を使ってくれ」という形で洗剤を提供いただいても良いかもしれません。そういう協力の仕方をこれからも模索していきたいなと個人的には思います。

報告事項オ 啓発活動について

(飯野会長)

続きまして、啓発活動について、事務局より説明をお願いいたします。

(岩崎主任)

啓発活動について資料5を基に説明。

(飯野会長)

ありがとうございます。これにつきまして、皆さんから何かご意見等がありましたら宜しく願いいたします。

今年のバスまつりは結構お客さんが来られましたよね。こういう地道な活動というのが、実は重要な部分になります。ぜひこういった活動を事業者の皆さんの協力を得ながら、続けていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(田中委員)

もう5、6年前くらいになるのですけれど、エコ通勤・通学コンテストという事業をやりました。1回で終わってしまったんですけど、バスまつりの広報の一環として、このイベントとリンクしてできないかなと考えています。エコ通勤・通学コンテストというのは「バスに乗ることでこんな出来事があったよ」というエッセイと川柳を応募するという形でやりました。その催しの一環でそういう広報をして、催しの前に川柳や俳句を募集して、催しの時に展示をする。そういう流れができると、イベントに膨らみが出て良いんじゃないかなと思います。当事業所のバスブックで、エッセイや川柳を紹介するという事も出来ますし、そ

ういう時間軸で活用できるもので考えられると良いんじゃないのかなと思います。

企画の手間については、以前に当事業所がやっていますので、そこの部分を担っても良いのですが、広報の費用というのはなかなか出せるものではないので、企画を出して、広報のところはバスまつり実行委員会でご協力いただくと、そういうのをやったらどうなんだろう、「ゆうあい」というよりは、公共交通市民会議として一つのコンテンツを主催すると、この市民会議の対外的にも良いんじゃないのかなと。

(飯野会長)

島根大学OBで国文学の下房先生が「付句道場」というのを山陰中央新報でやっておられて、それが凄い人気で、年に1回「付句甲子園」というのをやっています。応募者がすごく多くて。その中に「交通」のことをテーマにしてもらって、みたいなことを我々としては考えられると思います。非常に面白いアイデアですね、ありがとうございます。

来年度はノーマイカーウィークがちょうど10年目を迎えることから、大々的に啓発活動に力を入れようと、事務局からも話が出ています。ぜひそんなアイデアあればよろしくお願いします。

他にいかがでしょう。どんどん出していただくと嬉しいです。決して仕事を無理に振ったりはしませんので。引き続きこういったこともやっていきますので、よろしくお願いいたします。

報告事項カ 松江市内路線バス小学生以下無料イベント結果について

(飯野会長)

それでは、続きまして、松江市内路線バス小学生以下無料イベントについて、事務局より報告をお願いします。

(岩崎主任)

松江市内路線バス小学生以下無料イベント結果について資料6を基に説明。

(飯野会長)

ありがとうございました。非常に面白い試みだったんですけど、ちょっと準備不足というのがあったかもしれないですね。事業者の皆さん本当にご協力ありがとうございました。これにつきまして何か。

(家島委員)

古志原地区から出ている家島と申します。今の小学生以下の子ども達に「日曜日に乗ってね」というのは、それ自体は良いと思いますが、小学生以下となりますと安全面で不安がございます。どうしても監督者、保護者が一緒についていくのが好ましいのではないかと思います。そうすると、日曜日のお父さんが、子どもが「どっか行きたい」「松江城に行きたい」と言うと、「じゃあ自分も乗ろうか」ということになる、利用促進につながって良いと思います。もしできれば、財源的にですね、親子券、親子パスそういった形であれば「じゃあ行ってみようか」という形になるのではないかと思います。そういうあたりも若干検討いただければと思います。

JR伯備線を見ていて思うのですが、ガラガラで走るのであれば、たまには無料で乗せた方がPRにもなるかなと思います。バスにしても同じことが言えるのではないかと思います。乗ってみれば「ここにバス停があるな」とか、利便性とか良さも分かると思うんですが。駐車場でも迷わなくていいですし、歩けば健康にもなりますので、そういったことも検討いただければと思います。以上です。

(飯野会長)

親子に限らず、おじいちゃん、おばあちゃん、要是誰か同伴できる大人がついていればということですね。

(佐藤係長)

ご意見ありがとうございました。今回実施するにあたって、いくつか考えておりました、親同伴の部分についても検討しておりました。ひとり親の子どもたちは使えにくくならないのか、あるいは、土日に限定しておりますが、両親が土曜・日曜仕事で、子どもは行きたくても行けないという方もいるのではないかと思います。ということにも配慮したなかで、今回、利用券には「バスの乗車に不慣れな子どもだけの利用はご遠慮ください」という注意書きをしたところでございます。親子券については新しいご提案でございますので、今後市民会議の場でご議論いただければと思っています。

(飯野会長)

いろいろなことを仕掛けていくといったことも大事だと思います。ぜひ、アイデア等ありましたらお願いいたします。

報告事項キ 第9回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果（中間報告）について

(飯野会長)

それでは次に参りたいと思います。

つづきまして、第9回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果（中間報告）について、事務局よりお願いいたします。

(福本副主任)

第9回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果（中間報告）について資料7を基に説明。

(飯野会長)

ノーマイカーウィークの中間報告について皆さんから質問、確認したいことがあれば、お願いします。

第7路線というのはどこでしょうか

(福本副主任)

第7路線は、市営バスの北循環線、南循環線ということで、乗客数が他に比べて多く出ています。

(飯野会長)

他はまだ伸びしろがあるということですね。重点的に利用促進を図っていくということが大切ですね。最終報告は次回あるということなので、ご意見があればお願いします。

協議事項ア 平成29年度ノーマイカー運動推進事業所の表彰について

(飯野会長)

続きまして、協議事項にはいります。平成29年度ノーマイカー運動推進事業所の表彰について、事務局より説明をお願いします。

(福本副主任)

平成29年度ノーマイカー運動推進事業所の表彰について資料8を基に説明。

(飯野会長)

今の説明の中で大事なことをお諮りしないといけないのは、表彰の選考基準を今回から変えたいという提案です。まずそこを皆さんにお諮りして、それが妥当ではないかということが分かったうえで、実際の事業所を提案ということになるんです。

まず事務局から話がありましたように、表彰基準に2つの修正を加えたいという提案なんですが、これについて皆さんからご意見を頂きたい。繰り返しますが、「3. 表彰基準」の②の※印部分の「過去①②を受賞した事業所を除く」というのと、③の※印部分の「②については後援者及びその構成団体を除く」という基準を加えることで対象者を絞ろうと。

先ほど事務局からもありましたが、極端に言うとも毎年受賞してしまう事業所もあるものですから、表彰の価値が下がらないよう少し配慮するか、もしくはやはり従前通りの表彰が良いのか。

(家島委員)

確かに増えていくと、表彰の価値が無くなっていくような気がしておりますが、例えば取り組み顕著事業所というのを、今年度はともかくとして、例えば止めてですね、例えば、3年に達して表彰、5年に達して表彰、次は10年位になるんですけど、その方が参加事業所が次の目標ができて、価値がさらに増していくのではないかという気がします。別の団体を表彰するような施策をされると良いと思います。

(佐藤係長)

非常に良いご提案をありがとうございます。まさに同じ思いを持っておりまして、実は私、第1回の表彰式を担当させていただいたんですけど、当時は欠席がほとんど無い状態で、2社欠席があったくらい。あとはどの事業所にも出席していただいたという状況でした。昨年は40事業所が対象になっていたんですけど15事業所しか来られなかった。第1回の23年度は33事業所が対象になっていて、31事業所が出席だったと。年々出席率が下がっていて、これはいかんだろうとご提案をさせていただいたところでございます。

来年が第10回ということで、いろいろな取り組みをしていきたいと思っております。ノーマイカーウィークの表彰につきましても抜本的な見直しも検討していきたいと思っております。取り組み顕著表彰を止めるということもありますし、あるいは数字で判断するのではなくて、面白い取り組みをしておられればそれを表彰するようなことも検討していきたい。

今年度については今回のご提案ですが、来年度は10回目でございますので、工夫をしていきたいと思っております。引き続きご協力をお願いいたします。

(飯野会長)

10年目の節目を迎える中でもう一度、表彰のあるべき姿を考えましょうという中で、当面、第9回の段階では、このような形で対象を絞ることも止むを得ないのではないかという結論に達したのですけれども。

(石倉委員)

表彰の対象となった方から聞いたんですけど、以前から歴史館で実施をされているんだけど、「駐車場が無いので行きにくい」とおっしゃっていました。

(飯野会長)

大事なポイントかもしれないですね。つらいものがありますね、駐車場が無いから行けない。逆に「あえて公共交通でないと、来にくい所でやっている」というメッセージを伝える意味での会場なんですけどね。

(田中委員)

うちはノーマイカーウィークに参加していないので来年は参加しようと思うのですが、どういう企業・団体が参加しているか分かっていないもので、事業所でどれ位の人が勤務していて、そのうちのノーマイカー率が何%くらいかというのが分かるものですか。

(飯野会長)

事務局から説明してもえますか。

(佐藤係長)

アンケートについては基本的なところですけども、事業所にお勤めの方は何人いらっしゃいますか、そのうちマイカー通勤の方が何人いらっしゃるかとということで聞いております。従いまして、今のお話は事業所にお勤めの方のマイカー通勤の割合ということですかね。

(田中委員)

要するに、そのランキングを出した方が分かりやすいんじゃないかということですね。もちろん5人の事業所と100人の事業所では違うので、従業員の数で分けをして。毎年上位の所は上位だとか、1位と2位の所が入れ替わったんだとか、いつも接戦になったとか、そういうのがランキングで分かると。

参加している事業所が何年続けているかというのも良いかもしれませんが、ノーマイカーをどれだけ推進しているか、マイカーで来ている人の割合が少ない事業所を把握して、そういう意味合いを出していったらどうなのかという意見です。

(飯野会長)

そういうこともありまして、指標が3つありまして、参加者数、参加率、延べ参加者数の3つで出している。そうしないと人数の多い所と少ない所では、参加者が同じ4人でも、100人中4人と、5人中4人では全然意味合いが違ってきちゃうので。それぞれ事情も配慮した形でこの3つの指標でやりましょうと。

喜ばしいことなんですけれども、皆さん毎年参加していただけるので、だんだんと毎年参加されているところが毎年もらうというような形になってきたので、少し対象を絞ろうかという話なんですね。

次にお配りする表彰対象データが表れている資料でその辺りが良く分かりますので、申し訳ないですけど、この形で原案を作りましたので、次の資料を見ていただくという事でよろしいでしょうか。

※委員了承

(飯野会長)

では、具体的な選考に入りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

傍聴の方、報道機関の方は、恐れ入りますが退席をお願いします。

※傍聴者退出

※非公開

(飯野会長)

傍聴、報道関係の方に入ってもらってください。

協議事項イ 平成30年度ノーマイカーウィークに関するアンケートについて

(飯野会長)

続いて、平成30年度ノーマイカーウィークについてアンケートの説明をお願いします。

(佐藤係長)

平成30年度ノーマイカーウィークに関するアンケートについて資料9を基に説明。

(飯野会長)

ありがとうございます。9月ということで、多くの企業が中間決算でなかなかこの時期にお願いするのが難しい。ご承知のように私どもがやっているノーマイカーウィークは、現役世代の人たちが公共交通に乗ってくれないと公共交通が維持できない、というところにかかってきます。そういう意味では企業の協力は不可欠なんですね。そういった事情も考慮して、もう一度、どうやってやるのか確認するべきではないかということ。

もう一つ、10年が来ましたのでこの10年を事業所の皆さんはどう評価しているのか、あるいはどういう環境が整うともっと参加しやすくなるのか、そういったプラスアルファをこのアンケートではしてみたいと考えています。そういった意味からもこのアンケートをぜひ実施したいというのが提案になります。皆さんもご意見がありましたらお願いします。

(家島委員)

事業所に対して、参加することについてどういったことが障害になっているのか、ということをお尋ねになるのも大切かと思いますが、一人一人の人たちに、こういった事情で参加したくてもできない、そういったことも尋ねてみるのもいいんじゃないかと思います。

いわゆる後援団体といいますか、市の職員さん、施設の職員さん随分たくさんいらっしゃいます。私の知っている市役所の方は、八雲のほうから自転車や歩いて通っていると。特に飲み会の時は、歩いてこられるそうですけど、普通の方は公共交通機関を使って来ていただけるんじゃないかと思います。ただ、事情によってはそれができない方もいらっしゃると思いますので、出来るだけこういった事情で参加できないのか、バスを使わないのか、私のように健康のために自転車乗りたいとか、という者もおるかとも思いますけども、極力、公共交通を使いましょうとそういったこともぜひいろんなところに、特にこちらは結構公務員が多いです。そういった人達もターゲットにして、職権乱用で「乗ってくるな」というのは困るんですけども、そういった趣旨をまず公務員の方からも理解していただいて、参加していただいたら、いいんじゃないかと思います。幼稚園から大学まで、施設もございますので是非。

それからもう一つ。表彰の規定とは関係ないのですが、表彰状とか感謝状をもらってうれしいのはいつ頃までですかね。子ども達はけっこう頑張り賞もらって、喜んでいるのですが。忙しい大人の人が、市長さんの名前で紙切れ1枚で「やった」とかですね、嬉しいと思うだろうかというのが、素朴な疑問なんです。そうしたらもう少し、市の広報とか、マスコミを使って「こういった事業所が、公共交通の利用あるいはノーマイカーに貢献されました」という形で何か、顔や会社の名前が出る。そういったことのほうが紙切れ一枚もらうより、ずっと事業所として喜ばれる、あるいはその企業のイメージアップにつながるんじゃないかなと思っております。できることならですね、参加して良かったなという何かメリットが何らかの形で有ればいいんじゃないかと思います。

(飯野会長)

貴重な提案ありがとうございます。確実に受け取りますので、実現できるかはわかりませんが、必ず考えますので。

(福島委員)

島根県県土整備事務所の福島といいます。今年この会議に初めて、参加させていただきまして、ノーマイカーウィークというのは、うちの職場でもやっているところなんです、個人的な意見として、聞いていただければと思うのですが、特定の1週間、ノーマイカーウィークとして一斉に取り組むことは効果的だと思うのですが、さっきの決算時期があって、この時期は取り組みにくいとか、そういった各事業所の事情とかを考えると、時期を特定しなくても、事業所に応じた「ここからここ」を独自でノーマイカーウィークとして設定してやりますとか、そういったような取り組みもあっていいのかなと感じております。

先ほどの表彰とも関連すると思うのですが、特定の1週間に参加した企業が本当に良い取り組みなのか、他のことでも独自に取り組んで、何回もやったところが良い企業なのかというところがあると思いますので、一斉ノーマイカーウィークは良い取り組みだと思いますが、これを広げるとなると、もう少し継続的な取り組みをしていくところも拾ってあげられるようなことを考えられると、もっと良い取り組みになるか、いつも感じているところでしたので発言させていただきました。

(飯野会長)

非常に良いアイデアをいただいたなと思っております。顕著な取り組みをどういう風に顕著だとしようか、表彰対象をどうやって選んでいこうかというときに独自にやってくれていると、一番嬉しいわけです。今のところ、そういうところは拾えていないわけですから、非常に貴重なご意見を頂いたなと思うんです。事務局と相談して検討したいと思います。今みたいな意見があると我々、非常に嬉しいです。

アンケートについては、実証するというところでよろしいでしょうか。

※委員了承

4 その他

(飯野会長)

そうしますと、本日の議事は以上になります。その他いつものことですが、事業者、交通事業者の皆さん、事務局、委員の皆さんから何かご案内等があれば、よろしくお願いします。

(坂田代理)

松江警察署交通一課の坂田といいます。お手元に交通事故の現況と書いてある1枚のペーパーをお配りしております。昨年1年間の島根県内の松江警察署管内の交通事故の発生件数等が書いてあります。下の方は松江警察署管内での交通死亡事故の発生状況が書いてあります。時間もありませんので、松江警察署管内のみお話をさせていただこうと思います。

昨年の松江警察署管内の交通事故発生件数は438件で、負傷者数、けがをされた方は504人であり、発生件数、負傷者数とも、8年連続減少となりました。交通事故死者数は3人で、統計で分かる昭和28年以降の最小数であるとともに、松江市において第10次交通安全計画で策定され、示されておりますけども、平成32年までの4人以下の目標をも下回ることができました。これもひとえに、交通安全にかかわる関係機関、団体のボランティアの皆様の長年のご努力と道路を利用される市民の皆様の一人一人が安全運転、安全行動を実践していただいた成果であると思っております。

本年度、松江警察署で主に取り組んでおります交通事故防止対策について、お話をさせていただきますと、関係機関・団体、自動車メーカーさんですが、自動ブレーキ等がついた安全運転サポートカーの普及啓発活動を推進しております。あと、運転に不安がある高齢者の方へドライブレコーダーを貸し出ししまして、本

人・ご家族・署員でドライブレコーダーの映像を見ながら、個別の安全指導を実施しております。

以前この会議でも紹介させていただいた、市内35店舗のガソリンスタンドでは、運転免許証を返納された後に公布できる運転経歴証明書を持している65歳以上の高齢者の方を同乗させている家族や知人の方が給油される際に、1リットル当たり2円の割引支援を実施しております。最近ですけれども、子どもや交通教室で高齢者に人気がある、腹話術を複数用意して腹話術隊を結成しておりまして、効果的な交通安全教育を、推進をはかっております。

先ほど説明した取り組みの他にも、通学路の交通安全対策や悪質法令違反の検挙、交差点の街灯環境を強化するなど、より一層交通安全対策を強化し、日本一治安の良い、安全で安心な県都松江の実現を目指していきたいと思っております。今後とも交通安全に対する取り組みにご協力お願いいたします。松江署からは以上です。

(家島委員)

先ほど、松江署からのお話の中にもありましたが、私も免許センターでありました、自動ブレーキの体験会に高齢者として参加させていただいたのですが、残念なことに協賛といいますか、協力いただいたメーカーさんは1社だけでした。出来たら、いろんなメーカーが安全性能を売りにしておりますので、呼びかけていただいて、一度には難しいかもしれませんが、いろんな各社のそういった体験ができるよ、とそういうことが計画していただけたら、おそらくどの企業もそういうものがひとつの売りのポイントだと思いますので、ぜひ声掛けしていただきたい。

もう一つは、私が参加したときはメーカーの方が運転して、我々はただ横に乗っているだけということで、それで大丈夫かなということを思いました。というのは私もある程度年齢がきていますので、車は自動ブレーキとか、カメラ付きにはしているのですが、本当に止まるのかな、その分随分分割高になっているので、若干友人からも「おまえ騙されているじゃないの」「本当に止まるの」と言ってからかわれるので、本当はそういった各メーカーの車がですね、本当に止まるんですよ、と実証、体験できたら、さらにPR効果があるんじゃないかと思います。よろしくお願いします。

(飯野会長)

大事な点ですね。あと比較広告みたいな形になるやり方が難しいので、警察やJAFなんかがうまく間に入ってもらってやったりすると、そういうことができると思いますのでよろしくお願いいたします。他にいかがでしょうか。

(硯谷委員)

松江市の身障者福祉協会の硯谷でございます。皆様方に大変、特にバス会社さんあたりにはですね。日頃大変お世話になっております。

私は昨年9月に車の免許を返納いたしまして、今5つくらいの事務局長をやっているんですけど、それは大変だなということがよく分かったんですけど、朝昼という大変忙しく混む時と、昼の時と、夕方にバスに乗る時があるんですけど、本当にここで大変お礼を言いたいと思うのですが、運転手さんのこの一年間、障がい者の皆さんや高齢者の皆さんに対する接し方が本当に良くなりまして、私、心から本当にありがたいと涙が出るくらい大変ありがたい状況です。運転士さんの一言一言がですね、私たちの障がい者や車椅子の皆さんや、そして高齢者の皆さんに声かけしていただく、それがすごく良いんですよ。これはたぶん、事業者の中でも教育をされているんだということがこの1年間のなかですごく感じております。

もう一つはですね、海外からの観光客の方がたくさん来ておられます。どっちに乗っていいかわからない、すごく困っているということがすごくあるんですよ。一度言ったかもしれませんが、一人か二人でもお手伝

いの役割ができるサポーターを作っていく必要があるのではないかと、この数か月の間にすごく思っております。

そういうことで、皆さん方に会議でいろんなことをお話していただきまして喜んでいきます。ぜひ、今後ともよろしくお願いしまして、お礼を言いたいと思います。どうもありがとうございます。

(飯野会長)

運転士さんとか声かけをしていただけて良いですね。我々市民の方もきちんとしたいと思います。

事業者の方から今回は何か無いですかね。事務局よろしくお願いします。

(岩崎主任)

失礼します。まずご案内でございます。会議の中でも触れましたが、ノーマイカーウィークの参加事業所表彰式が3月6日14時から松江歴史館 歴史の指南所でございます。また、案内を送らせていただきますので、ご参加よろしくお願いいたします。

また、次回の市民会議は今年度最後となりますが、3月15日10時からとなります。ご案内はさせていただきますが、防災センターで開催を予定しておりますので、ご参加よろしくお願いいたします。

チラシを入れさせていただいておりますが、2月11日に「山陰新幹線の早期実現を求める松江大会」が開催されます。市民会議の皆様には案内をさせていただいておりますが、本日が締め切りとなっておりますので、ご持参いただいた方は提出いただきたいことと、欠席の連絡をいただいた方もいらっしゃいますが、収容人数の関係で、当日飛び込みで入場するのは厳しい状況でございます。できれば欠席の連絡をいただいた方も、2月5日まででしたら対応したいと思いますので、ご都合のつく方はご参加いただきたいと思います。

もう一つ赤いチラシ、F D A フジドリームエアラインズのチラシが入っております。松江市は他自治体や経済団体と一緒に出雲空港の利用促進に取り組んでおりまして、このたび3月25日から静岡便、4月20日から仙台便と、山陰地方で初めての路線が開設されます。現在お得な航空券も販売しておりますので、ぜひご利用いただきたいと思います。以上でございます。

(家島委員)

11日にあります「山陰新幹線の早期実現を求める松江大会」なんですが、これはもちろん実現しようとする人の集まりですね。と言いますのは、私この趣旨がよく分からなくてですね。本当に山陰に新幹線を通して採算がとれるのだろうか、いわゆる費用対効果の面でこんなお金を掛けてやってどうなんだろうということを感じているんです。

瑞風さんの段階で変だなと思うですけど、J R さんに文句を言うわけではないんですけど、いわゆる「ゆとり」が有るのであれば何かもうちょっと。普通、私なんかですと日常の足になる普通の便とかですね、あるいはもっと、今トラックの運転手さんが不足しているというので貨物列車を充実させるとか、そういったもう少し地道な、話があってもいいじゃないかと思います。

山陰新幹線をつくることの経緯とか、いろいろな負担とか、ダイヤの問題とか考えると、私はあまり無条件で賛成と言いだすのが、この大会に参加して「反対」と言っているのか、「どこから来たのか」と叱られてもいけませんので、その辺の資料とか勉強する材料とかあれば紹介していただければと思います。

今のところなかなか盛会のようですので、失礼しようと思っております。そういった声をぜひ聞きたいということでもあれば、いま欠席と書いている出欠票を直しますけども、もし何か情報があれば教えてください。以上です。

(飯野会長)

賛成・反対というと、主に賛成の人が集まるでしょうけども、おそらく記念講演の講師の藤井さんがですね、なぜ新幹線をつくる必要があるのかという、藤井さんなりの根拠みたいなものを示してくれると思いますので、そういった情報をまずは聞くというのが一番大事なことのかなと思います。僕自身も正直言って、懐疑的人間です。いろんな情報を得たうえで、最終的な判断をしてもらえればいいのかと思います。お時間の許す限り参加いただければ嬉しいなと思います。では最後は、事務局をお願いします。

(佐藤係長)

飯野会長にはスムーズな議事進行をいただきありがとうございました。それでは以上を持ちまして、平成29年度第3回松江市公共交通利用促進市民会議を閉会いたします。ありがとうございました。